

(様式1)

視 察 報 告 書

令和7年8月25日

鳥取市議会議長 星 見 健 蔵 様

鳥取市議会議会運営委員会
委員長 寺 坂 寛 夫

本委員会は、下記により委員を派遣し、行政視察（調査）したので、その結果を報告します。

記

1 期 間	令和7年7月23日から令和7年7月25日まで
2 派 遣 先 及び視察 (調査) 内容	岩手県盛岡市 議会改革の取組について ・もりおかmiraiおでかけミーティング ・高校生議会について 岩手県一関市 議会改革の取組について ・YouTube 一関市議会チャンネル ・議会モニターについて 埼玉県戸田市 議会改革の取組について ・委員会の年間活動テーマ ・広報広聴の取組について
3 派遣委員 の 氏 名	委 員 長 寺坂 寛夫 副委員長 浅野 博文 委 員 勝田 鮮二、米村 京子、魚崎 勇、石田憲太郎、 岡田 信俊、砂田 典男、上杉 栄一 (星見 健蔵 議長、長坂 則翁 副議長)
4 委員会所見	別添のとおり
5 参加者所見	別紙のとおり

所見

岩手県 盛岡市	○議会改革の取組について (もりおか mirai おでかけミーティング、高校生議会について) ・もりおか mirai おでかけミーティングについて、本議会でも同様な取り組みは鳥取大学地域学部の学生と意見交換会を行ったが、その後は行われていない。公立鳥取環境大学は、本市と県が出資した大学でもあり、公立鳥取環境大学の学生と意見交換会を企画してみたらと考える。 ・もりおか mirai おでかけミーティングは気軽に参加でき、ざっくばらんに楽しく開催されているように感じた。 ・議員のファシリテート能力向上のために、早稲田大学等から講師を招き、ファシリテーション研修会を開催していて、議員側も真剣に取り組んでいると感じた。 ・本市議会としても市民に議会をより身近に感じてもらうためにも、先進的な他都市の事例を参考にしながら、より充実した議会報告会・意見交換会にしなければならないと考える。 ・もりおか mirai おでかけミーティングについて、鳥取市議会の過去に開催した大学生を対象とした報告会を比較し考えた場合、大変良く検討されており内容として劣っていないと自負するところである。細かいところで見習うべき点はある収穫であったが、鳥取市の報告会も良さも確認できた内容であった。 ・高校生議会については、参加者をテーマ別に4委員会に編成し、本会議形式に委員会から本会議に諮り、委員長報告として提案の採決を行っている。採決された提案は、令和6年で例えれば令和7年6月議会の特別委員会の調査報告に取り上げられ、提言に反映された。主権者教育の手法としては非常に有効であると感じた。 ・高校生議会について、高校生も自分たちの提言が実現することにより、議会に関心を持ってもらうことが将来の市の発展につながると確信した。私もそうありたいと改めて認識した。 ・主権者教育という観点から、高校生議会での提言がその後執行部でどのように検討されどのような結果になったのかまでを当事者へ返してあげることが望ましいと感じた。 ・高校生議会については、4つの委員会に分かれて自由な意見交換がされている。もっと多くの高校生が参加できるような工夫が必要ではと感じた。
岩手県 一関市	○議会改革の取組について (YouTube 一関市議会チャンネル・議会モニターについて) ・議会モニター制度について、一関市議会では公募しても予定の人数が集まらなかったと聞いた。本市議会でもモニター制度を導入するにあたっては、充分なる検討が必要と考える。 ・議会モニター制度は、市民が制度自体を知らない・議員が直接地域に来て話し合うことが大切・交通費を支給してほしい・若い人にモニターになってほしいなどの課題があるようだ。 ・議会モニター制度はともすれば議会に対する意見が反対となりがちなのだが、一関市の制度は議会応援型なのは非常に良いと感じた。また、モニター会議による政策提言がされているのもよい制度と感じた。

	・議会だよりのリニューアルでは市民を対象としたアンケート調査の実施や、議会モニターからの意見を参考にして取り組み、かつ編集業者の選定にあたっては、費用重視から技術も重視して行って作成されたところが印象に残った。 ・議会だよりのリニューアルについて、本市の議会だよりについては、広報広聴委員と議会事務局で作っているが、一関市のように、専門業者のノウハウを取り入れることも一考に値するのではと考える。 ・一関市議会の議会だよりは地域の各団体の情報などを提供されるなど非常に見やすく、また見たくなるような広報誌であり、参考となった。 ・一関市議会では、令和5年10月に、第18回マニフェスト大賞において、躍進賞・優秀賞を受賞されている。マニフェスト大賞への参加が、読みやすい広報紙の発行につながった形であるが、議会改革を何とかしようとする姿勢が、大賞の受賞であり、読みやすい広報紙の発行であると感じた。私的には、大いに一関市の広報紙を参考にすべきと感じる。 ・議会モニターの選考は、各団体よりお願いすることが多いと聞き、どこも選考には苦労されていると思った。議会とモニターとの信頼関係が構築されており、とても感心した。本市が取り組むときの参考になった。 ・議会モニターより議会だよりの見直しについて意見があり、広報広聴委員会において見直し議論をスタートされ、市民目線に立ち、幅広い年齢層に伝わる広報を目指し改善された。本市でも広報広聴委員会を新しく組織したところであり、一関市議会の取組を参考にしながらより良い議会だよりの発行に努めたい。 ・大学への研究依頼については、民間シンクタンクに委託するのではなく、若者の新しい考え方を取り入れる手法に魅力を感じた。 ・広報広聴委員会を常任委員会としたことに驚かされた。委員は、他の常任委員会と兼務となることから、忙しさは否めないと感じた。本市議会で常任委員会化することは困難かもしれないが、現体制の中ですぐにでも検討すべきものと考える。
埼玉県 戸田市	○議会改革の取組について （委員会の年間活動テーマ・広報広聴の取組について） ・戸田市が行う年間活動テーマは、本年度委員会として何をテーマに活動を行うかを決定することから始めており、明確な活動計画を策定摺ることによって政策立案のための活発な議員間の討論が行われることが期待できる。また、計画に対する成果を作成し示すことで、市民に対する議会活動の見える化も期待できる。 ・委員会の年間活動テーマについて、通年的にテーマを議論することは議員としても充分熟知することができ、有効と考える。 ・毎年常任委員会の入れ替えをするとともに、議長も毎年改選することに驚いた。その中で議長、議会改革特別委員長、議会広報委員長が中心となって、議会全体で議会改革の取り組みを積極的に行っていることが素晴らしいと感じた。 ・モニター制の導入は、応募者が少なく人選に苦慮している。本市へのモニター制度の導入は否定はしないが、市政顧問や有識者、各種団体にモニター業務を依頼することにより、議会への意見や提案を具申することも選

	択肢としてあるのではと考える。 ・広報広聴の取組については、議会ＳＮＳの運用は有効と思うが、コンセプトの調整が必要と考える。 ・とだみらい会議については、市政について短期的な意見は少なからず聴くが、長期的な未来都市について聴くことが少ないので、本市議会としても非常に有効だと感じる。 ・鳥取市では、昨年度は高校生を対象とした議会報告会であった。また、中学生や小学生の議場見学等もある。視察先の意見や実績を参考にして、さらに多くの多くの市民に議会を理解していただく工夫をすべきと感じた。また、鳥取市の議会報告会の在り方は、他都市と比べても良く考えられた実のある会であり、自負するところも大いにあったことも確認でき良かった。 ・これまでの課題として、議会モニターの意見・提言に一般質問の内容や市の施策に関する意見が多く、「議会をより良いものにする」「市民にとって分かりやすくなる」などの趣旨にそぐわない、また、モニターの応募者数が増えないなど問題があるとのことだった。 ・常任委員会における活動が市民にあまり認知されていないため、議会だよりやホームページに掲載し、広報するように努力しておられ、大事なことと思った。
3市共通	・先進地３市議会を訪問し、議会改革での活性化の取り組みについて視察したが非常に参考となるものばかりだった。特に、広報・広聴の取り組みについては、市民はもとより、小学生から大学生まで幅広く、市議会の参画について熱心に取り組まれていた。若い世代から議会や市政に関心を持つてもらうことが重要で、議員としても説明責任や意見交換をすることが重要であり責務であると感じた。 ・議会改革を進めるためには、チーム議会で議員と事務局職員が一体となって進めなければならない。本市議会としても、今後更に議会改革を進めるにあたっては事務局職員の増員を図っていかなければならない。